

平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (中学校)

教科ごとの「教科の観点」における平均正答率の比較

松江第四中学校

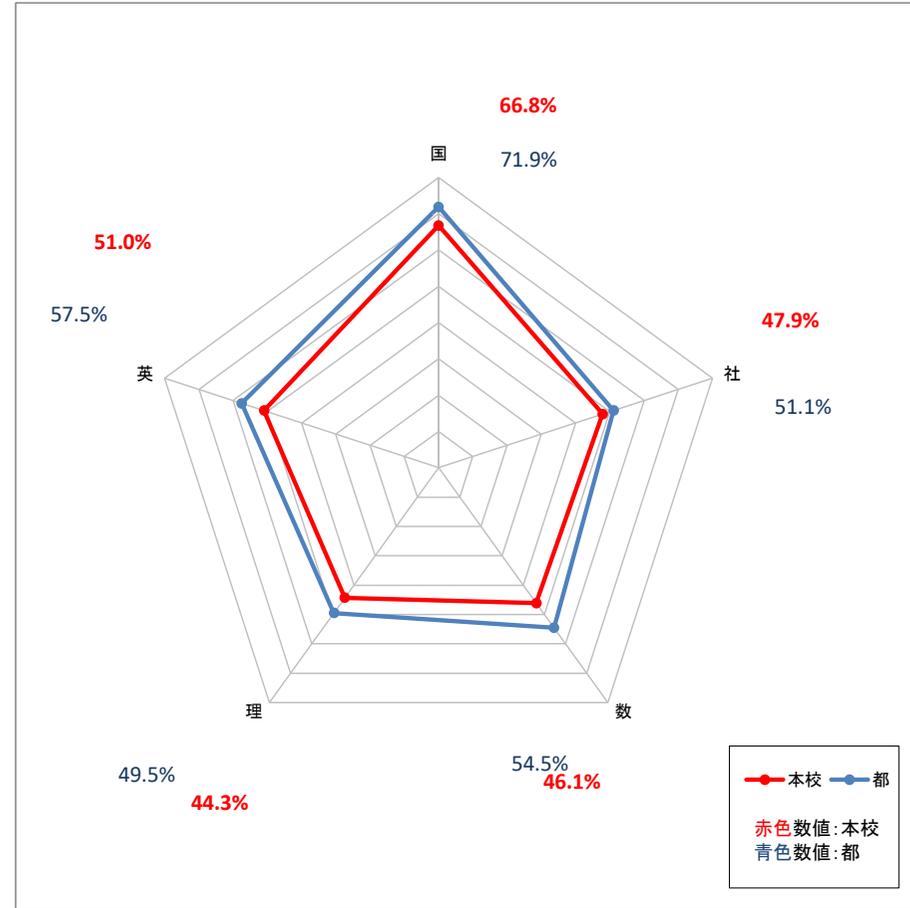
国語	教科の観点				教科の合計
	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
東京都	74.8%	58.9%	79.3%	69.1%	71.9%
本校	67.4%	50.9%	83.2%	56.2%	66.8%
都との差	-7.4	-8.0	3.9	-12.9	-5.1

社会	教科の観点			教科の合計
	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	
東京都	48.7%	61.9%	41.1%	51.1%
本校	45.4%	58.0%	38.9%	47.9%
都との差	-3.3	-3.9	-2.2	-3.2

数学	教科の観点			教科の合計
	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	
東京都	31.4%	62.4%	63.3%	54.5%
本校	27.7%	52.0%	54.0%	46.1%
都との差	-3.7	-10.4	-9.3	-8.4

理科	教科の観点			教科の合計
	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	
東京都	43.9%	60.2%	47.4%	49.5%
本校	39.5%	56.1%	41.2%	44.3%
都との差	-4.4	-4.1	-6.2	-5.2

英語	教科の観点			教科の合計
	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
東京都	46.1%	62.4%	59.2%	57.5%
本校	39.7%	55.5%	53.3%	51.0%
都との差	-6.4	-6.9	-5.9	-6.5



《都との比較にみる本校の状況》

- ・最小で3.2ポイント、最大で8.4ポイント、全教科で都の平均を下回っている。
- ・国語の知識理解が全教科の中で一番低く、都より12.9ポイントマイナスであった。しかし、読む力は都を3.9ポイント上回っている。
- ・社会は、5教科の中で都の平均に一番近く、2.2から3.9の範囲で下回っていた。
- ・数学は、見方や考え方より、技能・知識理解が都の平均より大きく下回った。
- ・理科は4.1から6.2の範囲で都の平均より下回った。
- ・英語は5.9から6.9の範囲で都の平均より下回った。

《授業改善のポイント》

- ・各教科で学習の基礎となる知識や技能の習得を徹底して行う。
- ・国語は基礎基本の定着を図り学力の底上げをしながら、特に言語についての知識・理解の向上に力を入れ取り組んでいく。小テストを繰り返して行い、課題を家庭でも行わせ学力の定着を図る。
- ・社会では基礎的な社会的事象についての定着を図りながら、思考・判断・表現の力をつけるために、話し合いの時間を多く取り入れる。
- ・数学では基本的な計算問題を授業の初めで行い、話し合いを多く取り入れ、教え学びあうことで、技能や知識の向上を図る。
- ・理科では、実験での考察を対話的な活動を行うことで科学的な思考・表現を高め、確認テストを実施し、技能・知識の定着を行う。
- ・英語では語彙力の向上に加え、文法の理解を対話の中でも意識し、学び教えられるよう時間を多く取り入れ効率よく定着させる。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・本校の現状及び課題について、三者面談や保護者会、学校だよりなどを通じて認識してもらい、家庭学習の大切さを理解させ、学習時間の増加や、学習環境の改善などを呼びかけ、定着を図る。
- ・課題や宿題の提出を徹底させるため、未提出に関して家庭への連絡をこまめに行い、連携を密にしていく。
- ・家庭学習支援サービスeライブラリアドバンスを使った家庭学習期間を設けているが、家庭での学習率がさらに向上するよう、呼びかける。
- ・小中間で、学力向上のために効果的な学習が行えるよう、連携教育を深めていく。